

沖縄辺野古埋め立て

県民投票でもわたしたちのシール投票でも、
圧倒的多数がNO！ なのに、
埋め立ては止まらないのはなぜ??
なぜ？ なぜ？

あなたは、どう思いますか？

裏面につづく



辺野古埋め立て県民投票結果

(2019年2月24日実施)

『普天間飛行場の代替施設として国が名護市辺野古に計画している米軍基地建設のための埋め立てについて』

賛成	11万4933票	19.10%
反対	43万4273票	72.15%
どちらでもない	5万2682票	8.75%
投票率	52.48%	
投票資格者数	115万3591人	

世田谷区内シール投票結果 by 当会ほか

『沖縄辺野古に新基地を建設する?』

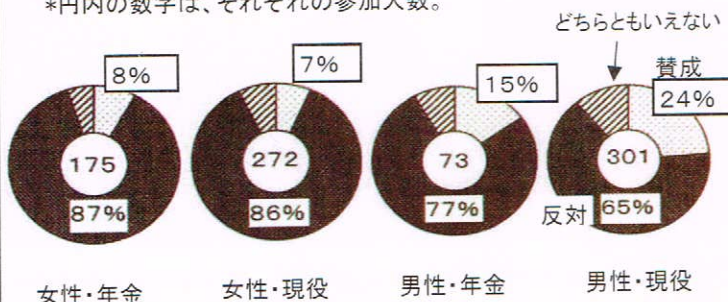
(2018年4月8日～2019年1月23日、計14回実施)

賛成	115 (14.0%)
反対	638 (77.4%)
どちらともいえない	71 (8.6%)
投票参加者数	824名

【シール投票内訳】

男女別、見かけ世代別、で4グループにシールの色を分けてきました。

*円内の数字は、それぞれの参加人数。



《コメントは裏面へ》

【沖縄通信-「無関心でいること」】

2019年2月24日、辺野古新基地建設の是非をめぐる「県民投票」が行なわれ、新基地反対が72%の支持を得て圧勝のうちに終わりました。しかし、と言ってもいつものことですが、県民投票の勝利の翌日、沖縄防衛局、すなわち国、アベ政権は、地上では、辺野古新基地建設のための工事車両を米海兵隊キャンプシュワブ基地に搬入し、海上では、辺野古埋立海域に土砂を投入しました。

アベ政権は、県民投票の結果は真摯に受け止める、と言いつつ、工事は進めさせていただくと、平然と云々のける。挙句の果てに、岩屋防衛大臣からは、県民投票の結果に関わらず、工事続行は決めていたと、地に落ちた「国には国の民主主義」発言まで飛び出す始末。さすが、森羅万象を扱うアベ政権です。沖縄県民が反対しようがお構いなし。砂粒程の気遣いもない、沖縄差別の何ものでもありません。

米軍基地が自分のところになくて良かった県外の皆さん。いつの日か、そこが沖縄と同じ道を歩むことになるかも知れません。(沖縄通信員:岩村利一・幸子)

代沢九条の会

次回例会は平成31年4月28日(日)13:30~16:00
代沢東地区会館(代沢1-31-8)で行います。
代沢九条の会事務局 03(3412)6097
URL:<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~daizawa9j/>
email: daizawa_9j@gmail.com

辺野古をうめるな

沖縄県民投票の結果は沖縄県民の「基地はいらない」という明確なメッセージである。自民党公明党は争点をぼかす「どちらともいえない」の導入や投票のボイコットを企んできたが沖縄県民はだまされなかった。すでに沖縄県民は翁長、デニー玉城の知事選、県議会選挙、国政選挙と何度となく基地建設反対の民意を示してきたのであるが、政府はこれらの選挙は直接基地の賛否を問うてはいないと無視し続けてきた。その機会も与えずにである。もはや政府は圧倒的な「基地建設に反対に○」の民意を無視することは許されない。ただちに辺野古の工事を中止し、辺野古が唯一の解決策などという大嘘をひっこめ普天間の無条件返還を求めて米国との交渉に入るべきである。

ここまで書いたところでいつもの金曜日の原発再稼働反対の官邸前抗議に参加。ところが原発の抗議行動は7時半で終わり、あとは自然発生的な「辺野古をうめるな」の集会に移行。ここで「これは沖縄だけでなく日本全体の民主主義の問題である」というスピーチがあった。本当にそうだと思う。この国の民主主義を守るためにも辺野古を埋めさせてはならない。(酒井)

辺野古新基地建設、もう限界

2019年2月24日の、辺野古基地建設の沖縄県民投票の結果は、「反対」が72.2%達し、辺野古新基地建設反対の民意が明らかになりました。辺野古新基地建設は、宜野湾市の市街地にある普天間基地の物理的な危険性を回避するという大義名分があります。

しかし、辺野古の新基地建設が続けられれば海洋汚染・生態系破壊に加えて辺野古地域で新たな危険性を生むことになり、基地問題の根本的な解決にはつながりません。ある意味、沖縄という限られた国土の中に国内米軍基地の74%が集中していることに限界があると思います。

かつて、高校生の慰霊団の引率者として沖縄を10回ほど訪問しました。その際、慰霊団の見学場所の近くで米軍機が墜落したことがありました。パスガイドさんが、「また落ちましたね～。米兵さんは、パラシュートで上手に降りるんですよ。ハイ、お時間ですから平和祈念堂にバスを進めましょね。」と、淡々と語っていたことを思い出しました。根本的な軍縮と基地の分散策を行う時期が来ていると思います。(深田 伊佐夫)

米軍基地、必要？

住宅地に隣接する普天間飛行場は大変危険。危険性を除去するためには辺野古移設以外の選択肢はない、と政府はいい続けている。実は、移設ではなく、新たな機能を備えた新基地の建設。

だれも基地の隣に住みたい人はいない。騒音や、事故の危険にさらされるのはごめんだ。もうこれ以上、沖縄に押し付けることはできない。かといって本土にも引き受けたくない。誰も引き受けたくないのだ。だったら、すっきりと普天間から米軍に撤退してもらおうしかない。

そもそも米軍はなんのために日本に駐留しているのだろうか？ 日本の国民が生活を犠牲にしてまでも、いてもらう必要があるのだろうか？

私たち国民は嫌なものは嫌なのである。米軍基地がなくても、平和に、安心して暮らしていける道があるはずだ。そのための奮闘、努力を惜しまないで。そんなの無理！と考える前から退けないで。(松田)

シール投票から見えること

女性より男性が、男性の中でも、若い男性に辺野古基地建設に賛成を投じる人が多かった。とくに、ある大学の正門前の投票では、男子学生の50%が賛成だった。

一方、中高校生の参加が多かった投票では、建設賛成はわずかに6.4%で、「どちらとも言えない」が19.1%で、選択に素直に悩む様子の中高校生が少なくなかった。大学生になると建設賛成が増えるのは、どのように理解したらよいのだろうか？

就職をひかえた大学生は、景気動向が気になり、現政権よりも魅力的で説得力ある経済政策を打ち出せない野党より、失業率の改善、大企業の好決算、一部企業の賃金改善をPRする政府の言動に引きずられて与党を支持するがゆえに、沖縄・辺野古新基地建設にも(心では、良いと思わなくても)賛成を選ぶ面もあるように想像する。

国政選挙において、若者層の現政権支持が多いことの一端が、ここにも表れていると言えそうだ。(Y.I)

なぜ？に答える子供たち

辺野古賛成の議員さんが半分以上いるからじゃない？

じゃあ、辺野古反対の議員さんが半分以上になればいいんじゃない？
今年、選挙があるし。

でも、辺野古反対の候補者が何人もいたら誰にいったらいいの？誰も入らなかったら？

辺野古反対の候補者が小選挙区に一人なら、いいんだ！
迷わないヨ

んだ、んだ、とにかく、みんな、選挙に行こう！！

区議会議員・区長選挙・・・2019年4月21日
参議院議員選挙・・・・・・・2019年7月